

学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」を開催しました！

令和6年2月20日（火）に、山形大学小白川キャンパス（山形市）において、FD ネットワーク“つばさ”の事業である、学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」を開催しました。このコンテストは、学生が主体的に学習活動を行う授業（アクティブ・ラーニング）を展開している教員の授業から学生が集まり、自分たちの活動の目的・内容・方法等について、合同で成果の発表を行うものです。発表に向けた準備や当日の質疑応答を通して、学生が①自分たちの学習活動のプロセスと学習成果を振り返り、②達成の喜びと自己肯定感の向上を味わうとともに、③今後の学業や大学生活のさらなる充実に向けた目標設定を行うことを目指しています。

令和元年度を境に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け実施していませんでしたが、4年ぶりの開催となった今年度は、FD ネットワーク“つばさ”の加盟校から9チームの学生らが集まりました（内訳：札幌大学1チーム、東北芸術工科大学1チーム、明海大学2チーム、山形大学5チーム）。

学生チームの発表は、授業を通して自身の経験や考えを踏まえたものとなっており、発表の方法にも工夫を凝らしたチームが多く、参加した学生は他のチームの発表を真剣に聞き、積極的に質問するなど大変充実したものとなりました。優秀チームには山形大学教育担当理事（山形大学教育推進機構長）の出口毅理事から表彰状と副賞の図書カードが贈られました。

コンテスト終了後の意見交換会では、他大学の学生同士で交流を深め、発表を終えてリラックスした表情の学生らは常に笑顔で、時間があっという間に過ぎるほど大変盛り上がりしました。

【コンテスト結果】

【第1位】「Japanese Affairs C」（札幌大学）

【第2位】「フィールドラーニングー共生の森もがみ（山形から考える）」（山形大学）

【第3位】「専門ゼミ1B」（明海大学）

【当日の様子】
コンテスト



コンテスト



表彰式



意見交換会

